

- 問1 日本の国内定期航空路線の旅客数に関する統計において、年間九百万人を超える利用者がいる羽田空港と新千歳空港を結ぶ路線に次いで、二番目に旅客数が多いのはどの空港と羽田空港を結ぶ路線ですか。九州地方の交通の要所としての役割を持つ空港を選択肢から選びなさい。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
1. 福岡空港                      2. 関西国際空港                      3. 那覇空港                      4. 鹿児島空港
- 問2 東京都、大阪府、愛知県、北海道の4都道府を比較した場合、人口が1300万人を超えて突出して多い一方で、農業産出額が4つの中で最も低く、工業生産額も愛知県と比較して低い傾向を示す都道府県はどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 愛知県                      2. 東京都                      3. 北海道                      4. 大阪府
- 問3 かつての日本では北海道や九州などの炭鉱で石炭の採掘が盛んに行われていましたが、現在ではその需要のほとんどを海外からの輸入に頼っています。このように石炭の供給体制が国内産から外国産へと大きく変化した主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 広島県公立入試 類似)
1. 大規模な露天掘りなどが行われる海外の炭鉱に比べ、採掘条件が悪化した国内産の石炭は価格が高くなり、安価な外国産が選ばれたため。
2. 1960年代の高度経済成長期に国内の石炭資源が完全に底をつき、物理的に採掘を継続することが不可能になったため。
3. 石油から石炭へのエネルギー革命が起こったことで、国内の生産量だけでは急増するエネルギー需要を賄いきれなくなったため。
4. 国内産の石炭は燃焼時の二酸化炭素排出量が外国産よりも極めて多いため、環境保護を目的とした法律で輸入が義務付けられたため。
- 問4 だいごんの生育には15～20℃という「生育に適した温度」があります。東京都中央卸売市場などの統計において、6月から10月にかけて千葉県産のだいごんの取扱量が減少し、代わって青森県産が急増して市場の供給拠点となる理由として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 青森県は高緯度に位置し、夏でも涼しい気候であるため、だいごんの生育に適した温度が保たれるから。
2. 青森県は冬の寒さを利用して野菜を凍結保存し、需要が高まる夏季にまとめて出荷する技術が発達しているから。
3. 千葉県は夏に雨が多くなるため、だいごんの病害を防ぐ目的で、意図的に出荷時期を冬に限定しているから。
4. 千葉県は青森県に比べて夏でも気温が低く保たれるため、より付加価値の高い他の野菜の生産に注力しているから。
- 問5 日本の発電において中心的役割を担っている火力発電は、その燃料となる石炭や液化天然ガス（LNG）の大部分を海外からの輸入に依存しています。日本のエネルギー資源をめぐる現状と自給率について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 高知県公立入試 類似)
1. 原子力発電の割合を飛躍的に高める方針により、国内での石炭採掘が法律で禁止されたため、燃料のすべてを輸入で賄っている。
2. 環境保護の観点から、国内の森林資源を火力発電の燃料として利用することを優先しており、化石燃料の輸入は一時的に停止している。
3. 国内に豊富な石油資源があるものの、国内で精製するよりも海外から製品として輸入する方が安価であるため、あえて自給率を下げている。
4. 国内で産出される化石燃料が乏しく、発電に必要な資源のほとんどを船舶による海上輸送で調達しているため、自給率は極めて低い。
- 問6 本州の西側に位置する山陰地方の島根県に所在し、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出したことで知られる鉱山があります。2007年には、自然環境と調和した産業遺産としての価値が認められ、世界遺産（文化遺産）にも登録されたこの鉱山の名称を選びなさい。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. 石見銀山                      2. 佐渡金山                      3. 別子銅山                      4. 足尾銅山
- 問7 日本のエネルギー政策において、地熱発電は国内の自然環境を活かした発電方式として注目されていますが、その設置場所には特有の制約があります。地熱発電所の多くが、東北地方や九州地方の山間部に集中している理由として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 発電に必要な高温の蒸気や熱水が得られる場所が、火山活動の活発な地域に限られるため
2. 大規模なダムを建設して、落差を利用した水の勢いを得る必要があるため
3. 原料となる石炭や液化天然ガス（LNG）を輸入するための大型港湾が必要なため
4. 日照時間が長く、広大な平坦地を確保できる地域が適しているため
- 問8 日本の自動車メーカーなどの製造業において、1980年代半ば以降、工場の海外移転が急速に進みました。その主な理由と、それによって国内の産業が衰退してしまう現象の名称を組み合わせた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 円安の影響で輸出が有利になったため、より多くの製品を作るために海外工場を建設したことで、国内の工場が閉鎖される「産業の集約化」を招いた。
2. 商品の価格を抑えるために人件費の安い国々へ生産拠点を移したことで、国内の生産活動や雇用が減少する「産業の空洞化」を招いた。
3. 国内での商品の需要が急増したため、供給を間に合わせるために海外へ生産拠点を分散させたことで、国内の生産額が増加する「産業の活性化」を招いた。
4. 国内での原材料不足を解消するために資源の豊富な国々へ工場を移したことで、国内の技術力が向上する「産業の高度化」を招いた。
- 問9 日本の伝統的工芸品には、その土地の自然環境や生活の知恵が反映されています。冬に雪が多く、気温が低い地域で発達した伝統的工芸品とその成立背景について、正しい記述を選択してください。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 冬の乾燥した晴天を利用して、屋外で原料を天日干しにする作業が効率的に行えた。
2. 夏の冷涼な気候を活かして、原料となる植物の栽培と加工を同時に行う仕組みが作られた。
3. 積雪により冬場の農業が困難な地域で、家の中で行える手作業が農閑期の副業として定着した。
4. 雪解け水を利用した水力発電が早期に普及し、大規模な工場での機械生産が発達した。
- 問10 日本のエネルギー資源と発電所の立地に関する説明として、最大出力150万キロワットを超えるような大規模な火力発電所の特徴を正しく述べているものはどれですか。 (2023年 広島県公立入試 類似)
1. 落差の大きい水が得られる、急峻な河川の上流部に集中している
2. 送電中の電力ロスを避けるため、燃料の産地である山間部に立地している
3. 地震や津波の被害を避けるため、海から離れた内陸部の空港付近に立地している
4. 原料の輸入に有利な、大型船の入港が可能な沿岸部に多く立地している
- 問11 日本の交通網の特色について述べた次の文のうち、地形的要因や国土の形状を考慮した説明として正しいものはどれですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 船舶による旅客輸送は、鉄道や自動車よりも高い割合を占めており、日本国内の移動における最大の主力となっている。
2. 日本は平坦な国土が多いため、航空機の利用は限定的であり、全国の移動は主に船舶と自動車によって賄われている。
3. 航空機は、南北に長い国土において、北海道や九州などの遠隔地と大都市圏を短時間で結ぶための重要な手段となっている。
4. 島々が点在する地形であるが、航空機の利用割合はアメリカなどの大陸国家に比べて極端に低く、ほぼ無視できる数値である。